

県養成医 かわら版

自己紹介

2014年 神戸大学入学
2020年 神戸大学卒業
2020年 西脇市立西脇病院 初期研修
2022年 神戸大学救急科プログラム所属
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 救急科



地域紹介

姫路市は兵庫県南西部に位置する都市です。(ご存知の方も多いかと思いますが) はりま姫路総合医療センターは、姫路市内の急性期病院が合併し2022年5月に開院しました。33診療科、病床数746床と県内でも有数の総合病院であり高度専門・急性期医療/救急医療/医療人材育成・臨床研究に力を入れた病院です。西播磨圏域を含む80万の医療圏で唯一の救命救急センターとなり、夜間に1時間以上かけて家島や赤穂、宍粟市から救急搬入を受けることもしばしばであり、いわゆる西播磨圏域の「最後の砦」として地域医療に貢献しています。



救命救急センターの特徴

年間約6000台の救急車が搬入されている当院は三次、二次の救急医療を展開しています。Hybrid-ERを含めたベッドを配置し、さまざまな疾病、外傷の初期対応を習得することができます。

加えてEmergency ICUを救急科で管理しており症例は年間1000例と関西トップクラスの診療数を誇ります。



プレホスピタル (病院前診療)

当院はDr.Heli準基地病院であり、週2回運行があります。専攻医2年目からOJT(off the job training)がはじまり、プレホスピタル(病院前診療)も積極的におこなっていきます。2023年10月からDr.carの運用も開始となり、よりプレホスピタルの現場に出る機会が増えるようになりました！！

地域とのつながり

開院後、地域との繋がりとして市民向け講座「はり姫健康講座」を月1回開催したり、地域ラジオに出演しています。また、地域の子どもの向けにBLS講座を実施、来年1月には子どもメディカルラリーというイベントを開催予定です。



この病院で研修をする魅力

医師数が約300人と非常に多く、専門分野も細分化されており県養成医が派遣される病院の中では非常に特殊な病院かと思います。救急外来、ICU含めて県内トップクラスの重症度、症例数を誇る病院で多くのスタッフ、コメディカルに支えていただきながら学ぶ機会はそう多くありません。今後地域病院に派遣された際にもより高度かつ救命につながる医療を提供するために学習する機会を得られる貴重な期間として、日々診療に励んでいます。

地域としては、秋になると「まつり」の季節になり、市内とその近隣がお祭りムード一色になります。灘のけんか祭りは特に有名ですので、もし姫路に来られることがあれば、ぜひ一度見に行ってみてください。(ただし、まつり外傷も増えるので救急医としてはなるべくみなさん安全に過ごして欲しいところですが…笑)

屋上ヘリポートからは姫路城や御座候の工場が見え、姫路の日々を感じることもできるので、もしよければ足を運んでみてください。

拙いかわら版ではありますが、これからも何事にも興味を持って学び、精進していきたいと思っておりますので何卒よろしくお願いいたします。



- Instagram
- Facebook
- HP
- Fika (救命救急センター 院内広報誌)
～広報やっています～

